

クリニックレター 2019年3・4月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP:<http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

春といえば桜、まだちょっと寒いけれど仕事帰りに夜桜見物、といきたいところですが、昨今は樹木保護のためにライトアップをしない桜の名所も増え、ちょっと寂しい気持ちにもなります。下の写真は私が生まれ育った福井市内の足羽川(アソガリ)堰堤の桜並木です。ちょっと霞がかかった青空に映える桜を見ると、「春がきたなあ、生きててよかったなあ」という喜びを感じますね。(ちなみに、私の実家はこの写真の右下200mくらいのところ)

じつは、桜の樹皮は桜皮(サクラ)といい、漢方薬として用いられています。桜皮は主にヤマザクラの木の皮が用いられ、江戸時代から、魚の中毒、じんましんなど皮膚病の治療や、解熱、止咳薬として主に民間療法として用いられていました。漢方処方に用いられるようになったのは、世界で最初に全身麻酔下の乳がん手術をした医師として知られる「華岡青洲」が、桜皮を配合した「十味敗毒湯(じゅうみぱいどくとう)」を創製したことによります。十味敗毒湯は、私の頻用処方の一つでもあり、蕁麻疹や化膿性皮膚疾患だけでなく、咽頭痛を主症状とする感冒にも著効を示すことがあります。

甘党の方は、桜というと、桜餅が思い浮かぶかと思いますが、桜餅の独特の香りは、桜の葉に含まれる「クマリン配糖体」が分解されて生じる芳香物質によるものだそうです。(『漢方のくすりの事典』鈴木洋著より)

ちなみに、十味敗毒湯のエキス剤は数社から発売されていますが、なぜか、T社の十味敗毒湯は、桜皮の代わりに、「撲楸(ぼくきゅう)」が用いられています。撲楸は、主にブナ科のクヌギの樹皮が用いられ、漢方的には駆瘀血(瘀血を取り除く)、解毒作用があることが知られています。なぜ、T社の十味敗毒湯が桜皮ではなく撲楸をもちいているか?という疑問に関しては、江戸末期から明治初期にかけて活躍し、天皇家の侍医も務めた「浅田宗伯(あさだむねちか)」:浅田飴の名前の由来になったことでも有名ですが、十味敗毒湯に撲楸を用いていたことによるもの、とされています。

ちなみに、漢方薬の中には、同じ名前なのにメーカーによって処方内容が異なるものが他にもあります。動悸や精神不穏などで用いられる柴胡加竜骨牡蠣湯(さいこかりゅうこつりゅうりゅうとう)は、K社K社のものには瀉下作用のある大黃(ダイオウ)が入っていますが、T社では大黃は含まれていません。また、湿疹や前立腺炎などに用いられる竜胆瀉肝湯(りゅうたんしゃかんとう)は、T社とK社では構成生薬が全く異なります。我々漢方専門医にとっては当たり前のこのような知識ですが、一般の医師の間ではほとんど知られていないのが現実であり(裏面へ)



薬剤師さんでも案外ご存じない方が多いのではないかと思います。

漢方は勉強すればするほど奥の深さがわかってくる学問ですが、残念ながら、大学での漢方の講義時間は内科や外科など他の分野と比べると圧倒的に少なく、また、大学卒業後の勉強の場も限られています。私は漢方専門医・指導医として、周りの医療関係者に少しでも漢方に対する知識を深めていただきたい、という思いもあり、学生さんや薬剤師さん、医師などを対象とするいろんな会でお話をさせていただいています。

今年、医師向けのセミナーは、広島、大阪で、薬剤師さん向けは京都で、学生講義は、神戸大学医学部、兵庫医科大学、関西医科大学、兵庫医療大学(薬学部)で、それぞれお話をさせていただく予定です。また、漢方を勉強する仲間たちとの勉強会も、年に14-5回開催しています。さらに、当院は漢方専門医試験のための研修施設にも指定されており、これまで10名以上の先生方が私の外来に陪席され、専門医試験に合格されてきました。これからもより多くの医師・薬剤師さんたちに、「正しい」漢方を知っていただき、同時に自分たちの知識も深めていきたいと、頑張っています。

知っておくと役に立つ”経穴(ツボ)”の知識-気海(けい)-

今回も前回に引き続き、任脈(ニンマク)という、体の中心を走る経絡上のツボを解説します。任脈には全身の調節を行うための大切なツボが多く存在します。

部位:腹部正中線上、臍から指2本分真下、関元より指1本真上に位置する。

名前の由来:気(キ)の海(カイ)ということで、気が充満している部位である働き:気海に気が充満していないと、病気の治癒を遅らせることになる。この部位に灸をすることで、気を充満させ、気の流れをよくすることができる。神経過敏や心身症などの精神症状や、神経性胃炎、過敏性腸疾患などにも用いられる。



休診のお知らせ

#)3月22(金)23(土)25(月)26(火)院長外来

#)3月19日(火)心療内科外来(水野医師) #)3月23日(土)婦人科外来(中井医師) ご迷惑をおかけいたしますが何卒ご了承くださいませ。

ゴールデンウィーク期間中の診療について

4月30日(火曜)と5月2日(木曜)は西本院長が、診療をおこないます。

診療時間は、午前 9:00~12:30 午後 14:30~17:00 です。

どうぞご利用ください。

4/28	29	30	5/1	2	3	4	5	6
日	月(祝)	火(祝)	水(祝)	木(祝)	金(祝)	土(祝)	日	月(振)
休	休	診療	休	診療	休	休	休	休

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようにお願いします。駐車場の長時間のアイドリングもお控えください。

クリニックレターのバックナンバーはクリニックホームページでご覧いただけます。